

2021年5月11日

株式会社日立ソリューションズ

## 共和薬品工業の基幹業務システムを9カ月で「SAP S/4HANA」に刷新 受注・出荷・請求プロセスの処理時間を1/2に短縮し、業務効率向上に貢献

株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:山本 二雄/以下、日立ソリューションズ)は、医療用医薬品などの製造、販売を行う共和薬品工業株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長 角田 礼昭/以下、共和薬品工業)の基幹業務システムを、独 SAP 社の ERP 「SAP ECC6.0」から「SAP S/4HANA」に刷新し、2020年11月2日に稼働しました。

要件定義で課題の優先順位を明確にして、カスタマイズ開発する機能や移行データを最小限に抑えることで、9カ月という短期間で構築を実現しました。

共和薬品工業は新システムによって、受注・出荷・請求のデータ処理に要する時間が1/2に短縮され、業務効率向上を実現し、社員の働き方改革にもつながりました。また、クラウド環境で運用することで、システム運用管理工数の削減や、システムの柔軟な変更、拡張性も可能となりました。

今後、「SAP S/4HANA」のデータベースに蓄積されているデータの活用や、経営管理や原価分析などの業務のシステム化によって、業務効率を一層向上させ、経営判断のスピード向上を図っていきます。

日立ソリューションズは今後も、システムのモダナイゼーションを支援し、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)や働き方改革に貢献していきます。

### ■ 背景

共和薬品工業は、2007年からインドの後発医薬品メーカーである Lupin グループの1社として事業を展開してきました。

同社は、従来、Lupin グループ共通の「SAP ECC6.0」をベースとする基幹業務システムを利用してきましたが、日本独自の商習慣を踏まえた組織体制に合わせたコード体系の変更や新しい帳票の追加といった、他国の利用者に影響がある機能変更や機能拡張への対応は、難しい状況でした。また、インドで稼働しているシステムを日本からネットワーク経由で利用していたため、大量データ転送時のシステムの処理能力不足やレスポンス速度の遅さ、ネットワークの遅延も深刻な問題となっていました。

そのような中、ユニゾン・キャピタルへの株式譲渡によって、2019年12月に再び独立起業になることが決まり、TSA\*1の期限である2020年12月までに新システムに移行する必要がありました。

日立ソリューションズは、このような背景の下、130件を超える豊富な導入実績を有する「SAP ソリューション」をベースに、医薬品業界の豊富な業務知識、稼働前のリハーサルなど、慎重かつ実現性の高い計画の提案が共和薬品工業から評価され、クラウド上で運用できる「SAP S/4HANA」の導入にいたりました。

\*1: Transition Service Agreement: M&A 対象事業・企業の移行期間中におけるサービス提供に関する契約

## ■システムの導入効果

### 1. 自社専用の基幹業務システムを実現し、システムの拡張性や柔軟性が向上

クラウド環境に「SAP S/4HANA」を基盤として基幹業務システムを構築したため、大量データの高速度処理や分析が可能となり、現在の2倍の受注量になってもシステムの増強が不要です。自社専用のシステムのため、機能変更や他システムとの連携など、拡張性や柔軟性が向上しました。

### 2. 受注・出荷・請求業務の処理時間が短縮することで業務効率向上を実現

データ処理能力やレスポンス速度といったパフォーマンスが3~5倍に高まったことで、従来の数十倍のスピードで帳票を作成できるなど、受注・出荷・請求業務の処理時間が従来の半分になりました。

システムへの負荷を意識せずに新たなビジネスにチャレンジすることができるようになりました。

### 3. クラウド環境への移行とAMOサービスの導入により運用負荷を軽減

AWS (Amazon Web Services) をインフラ基盤とすることにより、99.99%の可用性を実現するとともに、DR<sup>\*2</sup>環境も構築し大規模災害時に備えたシステム構成としました。

さらに、経験豊富なSAP運用保守コンサルタントによる、日立ソリューションズのAMO<sup>\*3</sup>サービスを利用することで、システム管理者の運用の負荷を軽減しました。

\*2: Disaster Recovery 災害復旧を行う仕組みや体制

\*3: Application Management Outsourcing 導入後の運用支援

## ■お客様からのコメント

共和薬品工業 ファイナンス・IT本部 IT統括部長 小川 昌彦氏  
ファイナンス・IT本部 IT統括部 サプライチェーンサポート課 課長 一柳 篤志氏より、以下のコメントをいただいています。

「日立ソリューションズには、要件定義から稼働後フォローまでのすべての工程をサポートしてもらいました。おかげで9カ月という短期間で新システムへの移行を実現し、本稼働でのトラブルもなく、安心して『SAP S/4HANA』を運用できています。

日立ソリューションズのエンジニアがSAPの豊富な機能を熟知していたことには驚きました。製薬業向けの導入・運用も多数経験があり、業界特有の業務についても理解が深く、やり取りもスムーズでした。

今後は、『SAP S/4HANA』のデータベースに蓄積されているデータを経営判断のための指標として活用することを予定しています。具体的には、ロボティックプロセスオートメーション(RPA)の仕組みを使って経営データをダッシュボードやポータルサイトの画面に可視化し、関係者で共有できるようにして経営判断のスピード向上を図っていきます。

さらに、日立ソリューションズには、『SAP S/4HANA』の機能や能力を活用しさらなる機能変更や機能拡張を実装するプロジェクトにも参画してもらいます。受注・出荷・請求、経営管理、原価分析などの業務についてさまざまな改良を加え、さらなる業務効率化と企業価値の向上をめざしていきます」

## ■「SAP S/4HANA」について

「SAP S/4HANA」は、大量データを超高速で処理することが可能なインメモリデータベース「SAP HANA」上で稼働する基幹業務システムです。SAP S/4HANA は SAP HANA の性能を最大限引き出すために、データモデルを可能な限りシンプルにしています。AI、機械学習、高度な分析、プロセス自動化などの技術が組み込まれており、膨大なデータをリアルタイムで分析することが可能です。オンプレミスでもクラウドでも利用することができます。

## ■ 日立ソリューションズの「SAP ソリューション」について

日立ソリューションズは、これまで、20 年以上にわたり、130 件を超える「SAP ソリューション」の導入サービスを手掛けてきました。SAP 社とのパートナーシップと多数の導入実績で培ってきた、業務知識を生かし、業務効率化やデータ活用を実現する豊富なソリューションを提供しています。これらを生かし、SAP S/4HANA の新規導入ならびに運用・保守までワンストップでソリューションを提供しています。

日立ソリューションズは、今後も、企業の基幹業務システムの課題に対し、「SAP ソリューション」の提供を通じて、意思決定の迅速化と業務効率向上に貢献していきます。

URL: <https://www.hitachi-solutions.co.jp/sap/>

## ■ 導入事例紹介のサイト

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/sap/case01/>

## ■ 商品・サービスに関するお問い合わせ先

URL: <https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

## ■ 報道機関からのお問い合わせ先

担当部署： 経営企画本部 広報部

担当者： 多田、安藤

E-mail: [koho@hitachi-solutions.com](mailto:koho@hitachi-solutions.com)


※ SAP、HANA、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はSAP社のドイツおよびその他世界各国における登録商標または商標です。

※ 本文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

-----

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

-----

 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号  
ホームページ: <https://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ 